

# ふるすこあ

発行責任者  
編集責任者  
森宮延信  
平方朝彦

昭和50年(1975年)10月29日 水曜日 享月 日



全日本吹奏楽コンクール、職場の部で金賞を受けた東海代表ヤマハ吹奏楽団浜松=25日、札幌市の北海道厚生年金会館で

静かな感動と、美しいチームワーク。数々の興奮に包まれた全日本吹奏楽コンクールが二十五、六の両日、北海道厚生年金会館で開かれた。二十三日のことしは札幌と秋田の二会場に分かれ、札幌で行われたのは職場と高校の部。とくに二十六日は、未明からつめかけた数千人の熱心なファンもあって熱気がたぎった。この全国大会が北海道で開かれたのは第十回の釧路市以来十三年ぶり。沖繩をはじめ全国十地区から約千三百人が集まり、ひたむきな音の競演をくりひろげた。

## 高校の部は実力も伯仲

◆第23回全日本吹奏楽コンクール◆

### 個性的な演奏、職場の部

めたのは広島県の電電中国吹奏楽団で、はつらつとして明快なウィリアムスの「交響的舞曲第三番」をきかせ初の金賞に輝いた。同じ金賞のヤマハ吹奏楽団浜松は、キリアを生かし、保科洋の「吹奏楽のためのカプリス」に流るる音のあまのよさを示した。

職場の部に続き、こしはじめて行われた五年連続金賞受賞団体による特別演奏は輝かしく、楽しい演奏で客席を喜ばせ、盛んな歓聲を浴びた。

二百目の高校の部の出場は十九校。実力伯仲の接戦だった。

東日本の金賞は関東の銚子商と秋田の花輪の二校。一昨年と昨年にかけて金賞の銚子は、ベルティの「運命の力」序曲で美しく、ゆとりのある演奏をきかせ、花輪は「ヤイコフスキー」冬の日の幻想に一段と成長ぶりをうかがわせた。一方、関西では、大阪の淀川工がバックハトッカータとフリーガに美しいアンサンブルを示し、また奈良の天理が山田耕祐の交響詩「おもむき」に日ごしの訓練のあとをしのがせ、ともに金賞。

緊張の舞台にもかかわらず、その中には肩の力を抜いた演奏で部分的ながら音楽のたのしさをきき出したところもいくつかの試みも感じられた。

次の秋田大会は十一月二日(大学、一般の部)と三日(中学の部)秋田県民会館で開かれる。

昭和50年(1975年)11月7日 金曜日 享月 日 第16号

# 充実著しい一般

全日本吹奏楽コンクール



## 中学のレベルも上がる

一般の部で金賞を受けた北海道・旭川市青少年吹奏楽団の演奏=秋田県民会館で

全日本吹奏楽連盟と朝日新聞社の主催による第二十三回吹奏楽コンクール全国大会・大学、一般、中学の部が秋晴れに恵まれた二、三の両日、秋田県民会館で開かれた。回を追うごとにバンド演奏の技術や音色が目立ってよくなり、音楽の内容を競う催しに変わっているが、それはとりもたず、コンクールの水準向上を意味するものでもあるようだ。

これは初日の大学の部でもはっきり感じることができた。ストラビンスキーの「火の鳥」で輝かしい演奏ぶりを発揮して金賞を得た駒沢大学、全国大会初出場ながらよく金のを射留めた近畿大学の好演はともにみごとであり、数年前の大学の部にくらべ、見違えるような躍進をみせた。銀賞校は三重大、神奈川大などで、若々しく健康な音楽をきかせたのが印象的だった。しかし各大学を通して編成が不ぞろいであり、交響的作品を取りあげているにもかかわらず、木管(とくにクラリネット属)が少なく、金賞が強大であったのはうなずける。

## 技術より内容を競う

初日の午後に行われた一般の部の充実ぶりは、一層目をみはらせるものがあった。練習会場の問題など地域での活動には困難が少なくないが、中学、高校、大学から一般社会人へと吹奏楽運動を発展

の秋田県山王中、島根県出雲第一中、徳島県富田中の自由曲は、響き、技巧、音楽的内容において、中学生の域を越えた、驚嘆すべきものだった。銀賞は遠来の沖繩県石田、那覇向中学と、秋田県城角中、福井県丸岡中の四校だった。そのうち沖繩の二校はシンフォニック・バンドにふさわしい編成で、他の参考になったと思われる。

一日午後、同会場で、バンド関係者の交流をかねた交歓演奏「フレ・フェスティバル」と、全国市民バンドの集い、が開かれたが、この集いを通して全日本市民バンド連盟への下地がつくられたことや、大会を組織した地の努力なども高く評価したい。

(大橋幸夫・N響クラリネット奏者、国立音大教授)

## 25団体が熱演

都吹奏楽コンクール

本年度全日本吹奏楽コンクール予選大会(都吹奏楽連盟、朝日新聞社主催)は十日前九時から杉並・普門館で、中学・高校・大学・職場、一般の各部門から選ばれた計二十五団体が参加して行われた。

約三千人の聴衆の前で熱演が繰り広げられ、次のように受賞団体が決定した。

- ◆中学校の部【金賞】板橋区立赤塚三中【銀賞】玉川学園中、練馬区立石神井南中◆高校の部【金賞】玉川学園高【銀賞】明大付属明治高、日大三高◆大学の部【金賞】駒沢大【銀賞】亜細亜大、東海大◆職場の部【金賞】ヤマハ東京【銀賞】電電東京◆一般の部【金賞】瑞穂青少年【銀賞】乗泉寺、山野シンフォニック

## 駒沢大・旭川青少年などに金賞

吹奏楽コンクール

第二十三回全日本吹奏楽コンクール(全日本吹奏楽連盟、朝日新聞社主催)の秋田大会第一日、一日午後、同会場で、バンド関係者の交流をかねた交歓演奏「フレ・フェスティバル」と、全国市民バンドの集い、が開かれたが、この集いを通して全日本市民バンド連盟への下地がつくられたことや、大会を組織した地の努力なども高く評価したい。

(大橋幸夫・N響クラリネット奏者、国立音大教授)

- 【大学】金賞II駒沢(東京)近畿(関西)【銀賞II三重(東海)九州芸術工科(西部)神奈川(関東)】【銅賞II岩手(東北)金井学園(北陸)】
- 【一般】金賞II尼崎市(関西)旭川市青少年(北海道)【銀賞II瑞穂青少年(東京)出雲(中国)】【銅賞II松山市民(四国)郡山(東北)長岡市(関東)白子(東海)金沢(北陸)】